

～持続性の実現～

2013年10月10日発行 10月号 No. 224

◇「日越交流 40 周年記念事業について」



(一社)東京都トラック協会
常務理事 安藤明

ロジ研の皆様今日は、常務理事の安藤です。このたび、第20回温故創新セミナーに齋藤部長とともに一緒させていただくことになりました。

今回の温故創新セミナーは、「ASEANの第二東西回廊の現状と物流状況の調査」のために、ベトナムのホーチミン、カンボジアのバベットを訪れ、「ホーチミン市貨物輸送協会」との「意見交換及び交流会」を開催するという事で、外務省所管の「日越交流40周年記念事業」に正式に位置づけられたことは、素晴らしいことで、誠にありがとうございます。

岩倉使節団といえば、たしか、NHK大河ドラマ「八重の桜」の新島襄もジョセフ新島として岩倉使節団の通訳を務めていたやにも記憶しています。

そうした意味でも、今回の温故創新セミナーにご一緒し、明治初期の国際情勢にも思いを巡らしながら、国家間の記念事業として、皆様とともに彼の地の物流事情を視察・調査できることを楽しみにしています。

◇「平成 25 年度第 1 回オープンセミナー」

広報副委員長 松下章一〔江戸川支部 (有)松下運送〕

平成 25 年 9 月 17 日(火)東京都トラック総合会館 7 階大会議室にて、今年度第一回オープンセミナーが開催されました。講師として、中野剛志氏(評論家)と昨年に引き続き三橋貴明氏(作家、経済評論家)の両氏をお招きしました。

今回も(株)三橋貴明事務所のご協力により一般参加の方も多数お越しいただき総勢 160 名という昨年以上の多数の方にお越しいただいたことを御礼申し上げます。

三橋貴明氏は、「安倍政権の政策の見方」、中野剛志氏は、「今後の世界情勢と日本」というテーマでそれぞれ 60 分という短い時間ではありましたがご講演をいただきました。



中野剛志氏

両氏とも安倍内閣支持の立場を取られていましたが、昨今の消費税増税、TPP参加等の政策には、否定的な立場を取られており我々業界のみならず、多くの日本国民にとっての悪影響を説かれました。

講演終了後、一般の方々を中心とした質疑応答の後に、階を移して恒例の交流会が開催されました。交流会にも会員、一般参加の方を合わせ総勢 90 名もの参加をいただきました。松本本部長の挨拶から始まり、ロジ研顧問の竹内氏による乾杯のご発声で交流会スタートです。

交流会においては、三橋、中野両氏のまわりを一般参加の方が取り巻き、ロジ研の会員が入る余地がないほどの盛況ぶり。講演中にマイクを通して聞くことの出来ない話に大いに盛り上がりました。ご参加いただいた皆様の熱気冷めやらぬ中、東ト協青年部本部長武井様の中締めのご挨拶をいただき無事閉会になりました。

昨年に引き続き、このような立派なセミナーが開催でき、我々ロジ研メンバーの勉強のみならず、広く一般の方々に我々ロジ研並びに東京都トラック協会のPRにも役立ったことは、大変有意義なことだと思われまふ。年間テーマである「持続性の実現」を実践していることを改めて実感するセミナーでした。

◇「セミナーに参加して」

広報副委員長 半田一恵〔中央支部 (株)入船物流システム〕

政府の目的は経世済民!【世を経(おさ)め、民を濟(すく)う】と始まった今回のセミナー。三橋氏・中野氏とも分かりやすく端的に話してくれたおかげで、ためになるセミナーだった。セミナーの内容についてはほかの方にお任せし、別角度からセミナーに参加しての所感を少々。セミナー冒頭からドキッとした。「組織は「目的」(信念)を見失うと烏合の衆になる」はたして・・・「烏合の衆になっていないか?」これは自社診断をした心の叫び!

さて、今回のセミナーも大盛況。「すごくよかった!」が正直な感想だろう。ただ、「よかった」だけに何か「もったいなさ」を感じてしまう。それは業界以外の参加者にロジ研としてどれだけのインパクトを残せたのか。その生の声が聴きたかった!(個人的には終了後の懇親会に参加できずリサーチできなかった・・・残念!)でも、こういう地道な活動を通し業界のファン(理解者・協力者)を獲得しなければならないと実感した。また、「知っていること」(知識)の重要性を感じた。今の時代、グレーな部分が多く、それをこちら側に有利な色に染めるには、その「知識」と「手法」を勉強しないと勝てない。わかっているつもりでも、時代の流れは早い。そういう機会やチャンスが無いと時代に取り残されてしまう。そういう意味でもロジ研が取り組んでいる行動は業界のためにも大事な「地道な一歩だ」とあらためて思う。



◇「<美食の点呼記録>・・・⑮」

暑さも落ち着き、食欲の秋到来ですが、ガツガツ行かずお洒落にイタリアンなどいかがでしょうか。場所は歌舞伎町、区役所前交差点を明治通り方面に向かい九州ラーメンが見えるとその奥に店はある。店内は満席で自ずと店の評判を物語っている様だ。まずは前菜から。クイックメニューの生ハムとサラミの盛り合わせもいいが、モッツアレラとフルーツトマトのカプレーゼが絶品である。くさみのないチーズとやさしい味のトマトが口の中に入ると余計に食欲が増してくる。ホワイトアスパラにパンチェッタを巻いたローストも素材の味が十分に楽しめる一品だ。普段食べているアスパラベーコンとは比較にならず、パンチェッタと呼ぶと飲み方も上品になるものだ。

さて、いよいよメインのピザを頂こう。マルゲリータが運ばれてきた。永福町の名店にも引けを取らぬこのクオリティは素晴らしい。最近行っていないからかもしれないが、個人的にはこちらの方が好みかもしれない。パスタはテナガエビのトマトクリームソースを頂いた。うまい!とにかくウマイ。食べてみればわかる。3人前はいけるぞ!おっと・・・今回は上品だったな。他にもハチミツをかけて食すピザなどもあり存分にイタリアを堪能できた。もちろん食後はジローラモの如くネオンに消えていくのであった。チャオ!

ラ・ピッツェリア ルメン 新宿区歌舞伎町2-8-3 最上ビル1F
03-3205-1207 予約可 PM6:00～ 日曜休

<ペンネーム 常時無礼講>

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 10/16(水)～20(日)5日間 (16日夜発/20日朝着)
温故創新(ベトナム・ホーチミン、カンボジア・バベット)
- 10/24(木)16:00～ 三組織連絡会(東ト総合会館6階中)
- 10/28(月)17:00～ 青年経営者研修会(東ト総合会館7階)
- 11/7(木)16:00～ 本部連絡会(東ト総合会館6階中)
- 11/19(火)15:00～ 正副本部長会議(東ト総合会館4階)
第2回オープンセミナー(東ト総合会館7階)
講師:高岡美佳氏